

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 重点施策について</p> <p>①1期目も終盤ラストスパートであるが、現在の思い、そして日南町長としてこれからの4年間でどのようにリーダーシップをとられるのか伺う。</p> <p>②重点施策、マニフェストにどのように取り組まれるのか伺う。</p> <p>2. 外国語教育推進事業について</p> <p>①シアトル派遣再開への決意と思いを伺う。</p> <p>②小・中学生の派遣から一步前進した交流事業も進める必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>3. 新設スポーツクラブについて</p> <p>①日南スポーツクラブ（仮称）の設立に向けた取り組みについて伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①前町長からの施策継承とその充実を図ると共に、自身の新たな種をまいてきた。今後は、「共創と協働で進む町」を通して、未来につながるまちづくりを進める。</p> <p>②今後のありようを決める大きな事業となる。率先して全力で推進する。</p> <p>2.</p> <p>①3年間中止が続いたが、ようやく再開することができ、また、多くの参加希望があったことの意義は大きい。生徒たちは海外派遣の目的や意義をしっかりと理解しており、派遣による成果を期待できる。今回の希望者全員を派遣したい。</p> <p>②今年度はインターネットを活用した交流を行った。来年度はシアトルから中学生が来町し、交流する予定である。様々な形の交流によって、外国への関心や英語力の高まりも期待できる。</p> <p>3.</p> <p>①有志が令和5年度からの活動開始を目指し、クラブの設立準備を進めている。将来的には、自主的・主体的な運営が望ましいが、初期段階には行政の支援も必要である。来年度の支援の内容等を検討している。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. セントラル農場の環境問題について</p> <p>①被害を受けている農家及び下流域の農家に対してどのような思いなのかを伺う。</p> <p>②今後について町としてどのような対応を考えているのかを伺う。</p> <p>2. J-クレジット販売について</p> <p>①森林組合からの購入は完了したのか。</p> <p>②新規のクレジット申請t数を伺う。</p> <p>③CO2t販売単価について、8,000円から10,000円に戻す考えはないのか。</p> <p>3. 環境基本計画について</p> <p>①昨年3月の施政方針で「グリーンドリーム計画」を策定すると発表されたが、現在の進捗状況はどうなっているのか。</p>	<p>1.</p> <p>①数十年に対する苦勞、苦痛は大変であったと思っている。これから、しっかりと安定した運営をしていくよう協議し、前に進める。</p> <p>②土地の売買を整理し、地元と協議していく。</p> <p>2.</p> <p>①10月に購入が完了している。</p> <p>②計画段階のため申請トン数は未定。</p> <p>③継続して購入される企業もあり、当面は金額に戻す考えはない。</p> <p>3.</p> <p>①年内に素案を環境審議会委員に提示し、年度内に完成するよう策定中である。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 中心地域整備について ①中心地域の整備計画が見えてこない。その進捗と今後の方針を伺う。</p> <p>2. 新病院建築プランと介護の充実について ①新病院建築プランの検討を始めると政策提言で述べられているが、その内容とスケジュールの概略及び介護の充実の考えを伺う。</p> <p>3. 観光振興について ①山里Loadにちなんが発足して半年が経過した。今後の活動内容と課題が見えてきたか伺う。</p> <p>4. 共創・協働について ①共創・協働が進むまちを二期目の柱に据えておられるがその狙いと、期待する各々の役割について伺う。</p>	<p>1. ①大田原地区に関しては整理すべき課題も多くあり、現状整備計画を示すことができていない状況である。令和5年度から中心地域活用に向け住民アンケート、ワークショップを開催し検討していく。</p> <p>2. ①日南病院は昭和37年に開設し、新築、増改築を経て50年以上が経過。建物の老朽化が進んでおり、医療機能及び施設設備を含め新たな日南病院整備計画を具体化し進める。介護体制についても先を見据えた検討を行う。</p> <p>3. ①今年度もヒメボタルおもてなし、銀杏イベントを山里Loadにちなんが中心となり実施した。今年度関わっていただいた外部スタッフを今後観光振興の協力者として人材バンク構築を目指していく。自主事業も強化していく。</p> <p>4. ①一期目もJ-クレジット販売など地元金融機関の協力を得ながら販売推進してきた。二期目についても行政だけで解決できない案件など民間企業、大学、住民等との共創によりまちづくりを推進していく。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

坪倉勝幸議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 緑の食料システム戦略について</p> <p>①基本計画の策定状況について問う。</p> <p>②町内での取組みはどう進めるのか問う。</p> <p>2. 農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画の策定について</p> <p>①町内及び地域の人と農地の在り方について話し合いをどう進めるのか問う。</p> <p>②農業委員会は、目標地図(素案)の作成にどう取り組むのか問う。</p> <p>③農地基盤の整備を積極的に進める必要があると考えるが方針を問う。</p> <p>3. 農業の将来ビジョンについて</p> <p>①ビジョン実現のための全体計画の策定状況を問う。</p> <p>②農業所得の向上の取組みについて問う。</p> <p>4. 移住・定住対策について</p> <p>①求人と求職のミスマッチ解消の取組みについて問う。</p>	<p>1.</p> <p>①県と市町村共同で全体計画を策定している。</p> <p>②今後策定する基本計画に沿って、減農薬、減化学肥料等の取り組みやスマート農業の推進を行う。</p> <p>2.</p> <p>①担い手だけではなく自治会など幅広い関係者も含め、農業の面から見た地域づくりについて話を行っていく。</p> <p>②中山間地域等直接支払制度の集落戦略や実質化された人・農地プランを基に、守るべき農地について所有者と耕作者の意向を把握し目標地図(素案)の作成を進めていく。</p> <p>③地域での声を取りまとめ、地域の課題解決の一つの方策として基盤整備を検討する。</p> <p>3.</p> <p>①ビジョン実現に向け、基本構想に基づき、令和10年度目標で課題に優先順位をつけて解決に向けて取り組む。</p> <p>②農業の低コスト化など省力化を図りながら、県下ナンバーワンの良食味米産地として、さらに高付加価値化を目指す。</p> <p>4.</p> <p>①令和2年度から求人と求職のミスマッチを解消するため日南町ショートタイムワークプロジェクトを立ち上げ検討を重ねている。令和3年度から3回おしごとバンク交流会を開催し5名のマッチングが成立した。令和6年度から事務局を設けての運営を目指し準備している。</p>

<p>②特定地域づくり事業協同組合の検討状況を問う。</p> <p>③起業、就業促進のための地域おこし協力隊の募集と定着をどう進めるのか問う。</p>	<p>②現状検討は行っていない。引き続き関係機関と連携を図り、要望があれば前向きに検討していく。</p> <p>③令和4年度から「起業・半域型」、「起業支援型」を募集し2名を採用し活動している。次年度も引き続き募集を行うとともに、インターン型地域おこし協力隊も活用し、事前に日南町の現状を知ることにより地域おこし協力隊への申請がしやすくなる仕組みも構築していく。</p>
<p>5. 来年度の予算編成方針について</p> <p>①来年度の事業計画、予算編成の方針を問う。</p>	<p>5.</p> <p>①最上位計画である「第6次日南町総合計画」を柱に「第2期日南町人口ビジョン・総合戦略」、「行財政改革実施計画」、「グリーンドリーム計画」、「過疎地域持続的発展計画」、「公共施設等総合管理計画」等各種計画との連動と整合を図り、各事業においてSDGs目標達成に向けた取り組みを行う。新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢による原油・物価高騰、急速な円安の進行等による影響を注視し、町民の生命・健康と暮らしを守ることを最優先とし、機動的かつ効率的に予算編成を行う。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. セントラルファーム鳥取農場の買収について</p> <p>①農場の買収について県はどのような意見をもっているのか。県と連携して買収交渉にあたることはできないのか。</p> <p>②顧問弁護士など信頼できる専門家を代理人として交渉を進めることを検討したか。</p> <p>③買収交渉中の農場の操業を止めることはできないのか。</p> <p>2. 給食費無償化について</p> <p>①9月定例会以降の教育委員会などでの議論の内容を問う。</p> <p>②子どもの多い世帯への補助や就学援助の認定基準の引上げや拡充を検討しているか問う。もし検討しているのであれば、具体的にどのような世帯への補助、どのような認定基準を考えているか。</p> <p>3. 補聴器購入への助成について</p> <p>①9月定例会で、高齢者の聞こえについて(a)介護認定の調査、(b)支え愛ネットワークのアンケート、(c)補聴器事業者の相談業務での聞き取り、などで実態把握に努めているとの答弁があった。これらの調査の結果を示されたい。</p>	<p>1.</p> <p>①水質の改善に向けて、県と連携して進めているが、買収交渉については、町の問題と考えている。</p> <p>②検討は行っていない。</p> <p>③水質汚濁防止法等、基準違反がないと操業の中止は難しいと考えている。</p> <p>2.</p> <p>①PTAからの意見聴取や教育委員会での議論を行い、自己負担が妥当とする意見や給食費以外に優先すべきことがあるといった意見が多いが、無償化の意義を認める意見もある。結論は出ていないが、総合教育会議や予算編成の中で来年度の方針を決定する。</p> <p>②子どもの多い世帯への補助については、経済的に困っておられる場合に就学援助制度で対応し、制度について丁寧に周知する。就学援助の認定基準は情報収集・検討を行い、直ちに見直す必要はないと考える。</p> <p>3.</p> <p>①(a)介護認定調査(介護認定を受けている方547人が対象)における聴力の状況把握では、①普通に聞こえる方が244人(44.6%)、②普通の声がやっと聞き取れる方が194人(35.5%)、③かなり大きな声なら何とか聞き取れる方(聞こえない方等含)109人(19.9%) (b)支え愛ネットワークアンケート(H27～R2年度実施分より)における健康状態把握では、聞こえにくさを感じている人は全体回答者1,961人に対して208人(10.6%) (c)事</p>

②町として来年度予算で助成を実施することを検討しているか。

4. 日南福祉会による介護サービスについて

①ショートステイなど必要な介護サービスを利用者の方へ十分に提供できているか問う。

②十分な介護サービスを提供するのに必要な職員が確保できているか問う。

5. ごみ問題について

①第三次環境基本計画、第三次環境実施計画が今年度で計画期間を終える。第四次の計画では、生ごみの排出やプラスチックの使用を抑制する新たな対策を盛り込んでどうか。

②西部広域行政管理組合の未来につなぐ新しいごみ処理施設提案窓口には多くの提案・問合せが寄せられている。もし、ごみ発電に代わる技術を採用するのなら、必要な用地面積などが変わるのではないか。このような状況で用地選定を進めるのは問題ではないか。

③現在使用している最終処分場を閉鎖するにあたって濃縮水処理装置の建設・維持管理に20億円以上の費用が必要である。一般廃棄物処理施設整備基本構想でこの費用は算定されているのか。

業者による補聴器等相談会には一回平均7名の来所があり、機器の調整相談に加え2割弱の方は聞こえ方の相談実績もある。

②加齢性難聴者への対応については検討しているが、補聴器購入助成についての来年度の予算化は今のところ予定していない。

4.

①町内事業所のサービス提供のみでは利用希望の全てを充足できていないと認識している。ショートステイ等では町外事業所のサービスも利用している。

②職員の確保は十分とは言えないが、事業所としても求人活動に積極的に取り組みつつ、短時間勤務等職員の柔軟な働き方にも対応している。

5.

①他の自治体等の事例を含め、検討する。

②西部広域行政管理組合では施設整備基本構想を策定し、可燃ごみ処理施設の処理方式は、「現状の分別区分である可燃ごみを単独施設あるいは複合施設において効率よく処理できる方式」、「温室効果ガスやコストの削減に寄与する高効率な発電が可能となる方式」を方針としている。施設の建設用地は、この方針に基づいて選定を進められているので、問題はないと考えている。

③費用は、算定されている。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>町長選挙の政策提言の具体的な取り組み</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染対策について</p> <p>①コロナ院内感染で日南病院が外来患者の受け入れ中止となったことの経緯と、その後の対応について問う。</p> <p>②無料のPCR検査は、感染拡大を防ぐために重要であるが、いつまで実施されるのか。県や国の対応も問う。</p> <p>③5回目までのワクチン接種の案内が届いているが、接種の状況は。</p> <p>2. 物価高騰対策について</p> <p>①国と県が進めている肥料高騰対策はどこまで進んでいるか。この事業が町民に周知されているか。日南町独自の上乗せ支援を検討しているか。</p> <p>②9月定例会で議決した「住民税非課税世帯」への支援金42百万円がまだ支払われていないが、その原因は。</p> <p>3. 日南病院について</p> <p>①11月5日に開催した日南病院開院60周年記念のシンポジウムを、これからの病院事業経営にどう反映されるのか。</p>	<p>1.</p> <p>①11月3日に職員から最初の感染者が発生し、その後2週間に渡り職員14名患者10名合計24名の院内感染が発生した。一般病棟に集中したことにより外来職員が応援に就いたため、外来診療を中止とした。その後職員が順次復帰し11月21日から外来を再開した。</p> <p>②鳥取県の要請で、現時点において無料PCR検査は令和5年1月13日まで実施する。</p> <p>③令和4年11月末時点での対象者3,953人におけるオミクロン株対応ワクチン接種状況は、1,273人(32.2%)である。日南病院での今後の接種としては12月に個別及び集団併せて9日間予定しており、既に800人を超える方からの予約を受けている。</p> <p>2.</p> <p>①12月上旬に農業者へ制度周知を図り、2月末まで申請を受け付ける予定。また、町独自の上乗せ支援は9月議会で議決済み。</p> <p>②住民税非課税世帯へ5万円を給付する事業について、11月中旬にシステム改修が終了し、対象世帯に確認書類を発送した。書類を受理後、順次支給対応を行う。</p> <p>3.</p> <p>①今後も様々な手法を使って、地域医療のあり方を考えていただく機会を設けたい。特別講演については、地域医療確保のための事例として参考にする。</p>

<p>②新病院建設プランの検討に入るとの公約の具体的な手法について問う。</p> <p>4. 地方創生とSDGsについて ウッドショックに続いてフードショックということが喫緊の課題となっている。</p> <p>①日本の食料自給率38%という実態をどう受け止めているか。</p> <p>②農家の所得向上のために所得補償制度の一つである「中山間地等直接支払交付金」の単価の引き上げを国に要求したいが、どうか。</p> <p>5. 脱炭素について</p> <p>①2024年から全国民に賦課することになっている森林環境税と、一般財源として国から交付される森林環境譲与税についての地方財政上の考え方を示されたい。</p> <p>6. デジタルについて</p> <p>①防災無線などあらゆる機会を通じてマイナンバーカードの普及を進めているが、日南町の発行比率はどうなっているか。</p> <p>②マイナンバーカードを利用することのメリットとデメリットを分かりやすく示されたい。</p> <p>③政府は2024年から健康保険証を廃止してマイナンバーカードに紐づけることを決定しているが、個人情報の漏えいの不安は拭えないと思うがどうか。</p> <p>7. 公共交通について</p> <p>①10月から始まったデマンドバスのドア・ツー・ドアの現時点での課題とその対策を明らかにされたい。</p> <p>②タクシーチケット助成制度を来年度も継続するのかを明示すべきでは。また、この制度の利用者の聞き取り調査をされているのか。</p>	<p>②新病院建設については、(仮称)検討委員会を立ち上げる。</p> <p>4.</p> <p>①第一次産業を基幹産業とする町として、消費、生産の両面から食料自給率向上に取り組む。</p> <p>②この制度は所得補償制度ではなく地域振興や集落を応援する交付金であるので、所得向上は別に協議していく。</p> <p>5.</p> <p>①令和6年度から住民税に上乗せ課税される税であり、全国の自治体に森林整備など幅広く実施するための財源となる。</p> <p>6.</p> <p>①令和4年10月末時点で38.4%。11月以降で概ね270人の申請手続きを行った。</p> <p>②メリットは、顔写真付きの身分証明書、コンビニで公的な証明書を取得、各種行政手続のオンライン申請が可能。デメリットは、盗難・紛失による個人情報漏えいのリスク。</p> <p>③きちんとした運用を求める。</p> <p>7.</p> <p>①課題としては大きく2点、乗降場所と住民への利用方法周知。課題解決に向け現地確認、地域説明会の開催を行い住民の移動における利便性向上に努めていく。</p> <p>②デマンドバスのドア・ツー・ドア化が始まってもなおバスの利用が困難な方に対して、外出支援を行いたいと前向きに検討している。現制度利用者全員への聞き取り調査は行っていない。</p>
--	--